

「助かりました大賞」が延べ 10 万 614 票の全国の主婦の声で決定！
一般・サービス部門金賞『プレミアム付商品券、ふるさと名物商品・旅行券など』を内閣府が受賞

主婦の代表が石破茂 地方創生担当大臣に 感謝状とトロフィーを贈呈しました



女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行するサンケイリビング新聞社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 和田 直樹）ほかリビング新聞ネットワーク各社では、毎年、1年間に発売・発表された新商品・新サービスの中から、主婦が「助かった！」と思うものを選び大賞を決定する「助かりました大賞」を実施しています。

今年も 2014 年 9 月～2015 年 9 月に発売・発表された新商品・新サービスを対象に、全国の読者に「これがあって便利、助かった！」と実感した商品・サービスへの投票を募った結果、延べ 10 万 614 票の全国の主婦の声で金・銀・銅賞が決定。>>> <http://r.living.jp/mrs/0220tasu>



全4部門のうち、一般・サービス部門では、「プレミアム付商品券、ふるさと名物商品・旅行券など」（内閣府）が金賞を受賞。

これを受けて、3月14日（月）に読者代表の丸山郁美さん（写真左）が内閣府を訪れ、石破茂地方創生担当大臣に、感謝状とトロフィーを贈呈しました。

投票した多くの主婦の、“助かったうれしい気持ち”が伝わったコメントを見ながら、「こんなふうに政府がほめてもらえることはめったにない」と石破大臣。

「どうすればこれを使っていたらいいか、地域がよく考えて設計をし、民間の方も工夫を凝らし、それを受けた形で主旨に賛同する人たちに利用していただいた。今まで行けなかった所に旅行券などを利用して初めて行き、よかったのでまた、と出掛けていただけるのは大きい。もちろん国のお金を使っていることです。そうであればこそ、市民のみなさんに喜んでいただけることが大事ですね」と、にこやかに話していました。

「助かりました大賞」決定までの道のり 食品・飲料、家庭用品、美容・健康、一般・サービスの各部門において、2014年9月～2015年9月に発売・発表されたものの中から「これは便利、助かった！」との視点で、企業からのエントリーのほか、読者（主婦）と編集部がピックアップ。第一次投票、読者審査会を経て、各部門10点の入賞商品を決定。2015年11月28日付のリビング紙面およびWebなどで投票を呼びかけました。投票期間：2015年11月19日～2016年1月3日

＜本件に関するお問い合わせ先＞

サンケイリビング新聞社 リビング編集部：滑川・鈴木まで

E-mail：living_henshubu@sankeiliving.co.jp

〒102-8515 東京都千代田区紀尾井町 3-23 TEL：03-5216-9161 FAX：03-5216-9260